

# 由良川 荒河排水機場の効果（平成29年8月7日・8日 台風5号出水）

■荒河排水機場では、平成29年8月8日1時～8日13時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量13.8万m<sup>3</sup>の内水**を排出しました。そのうち昨年増設した3m<sup>3</sup>/sのポンプでは、**5.0万m<sup>3</sup>の内水**を排出しました。

## ■荒河排水機場の位置・全景



## ■ポンプ能力

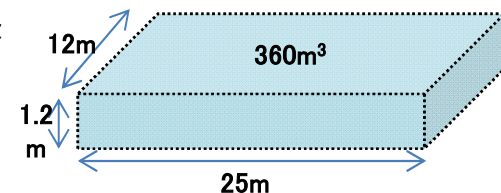
ポンプ能力	25mプールで換算した場合の能力
最大 13 m <sup>3</sup> /s(5.0m <sup>3</sup> /s × 2 基) (1.5m <sup>3</sup> /s × 2 基)	約28秒で25 m プールの水すべて排出できる

## ■効果

排水量 **13.8万m<sup>3</sup>** = 25 mプール **383杯分**

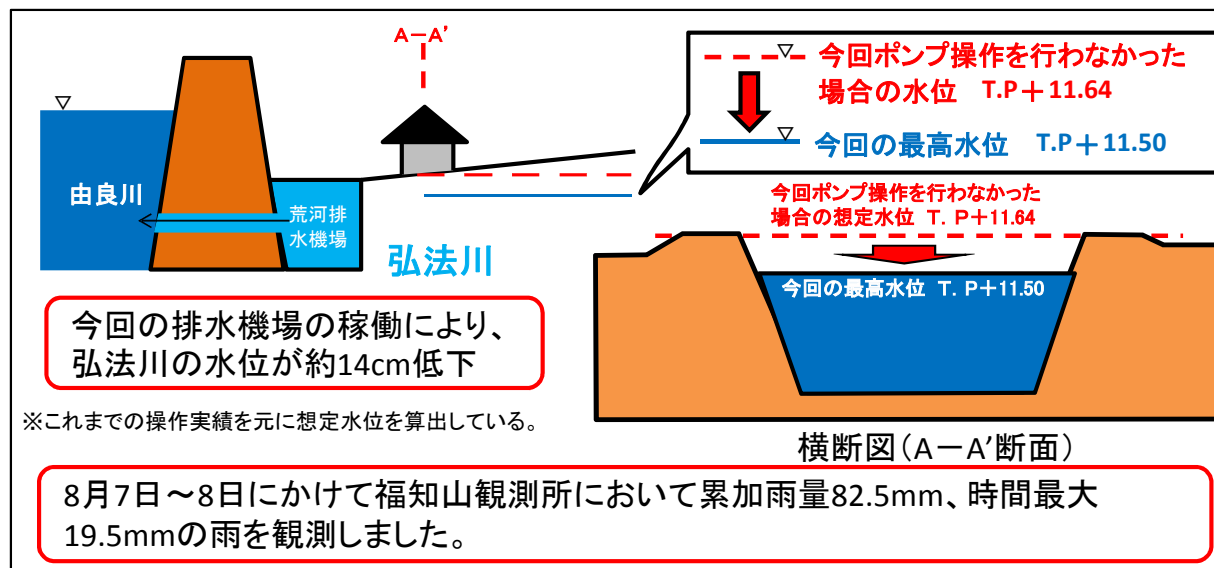
※今回排水した13.8万m<sup>3</sup>のうち昨年増設したポンプの排水量は5.0万m<sup>3</sup>でした。

浸水被害を防ぐため、排水量13.8万m<sup>3</sup>の内水を由良川本川に排出



## ■荒河排水機場の役割

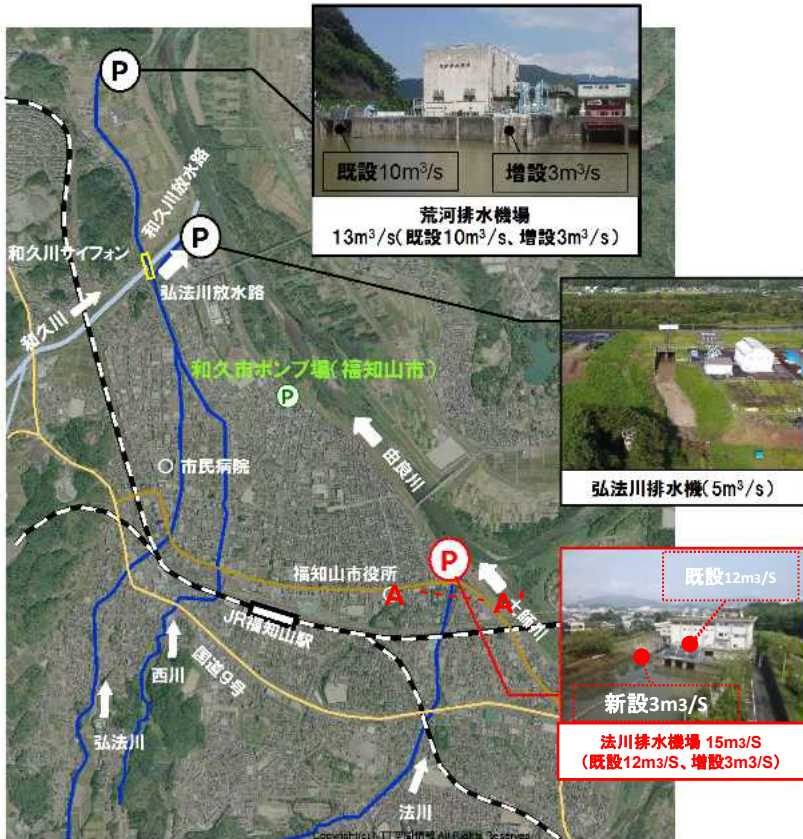
荒河排水機場は、昭和56年に運用開始後、平成6年に増設し、最大10m<sup>3</sup>/sの能力とした。昨年9月15日には3m<sup>3</sup>/sの増設を行った。弘法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山盆地の内水被害を軽減する役割を担っている。



# 由良川 法川排水機場の効果（平成29年8月7日・8日 台風5号出水）

■法川排水機場では、平成29年8月8日4時～8日13時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量1.8万m<sup>3</sup>の内水**を排出しました。

## ■法川排水機場の位置・全景



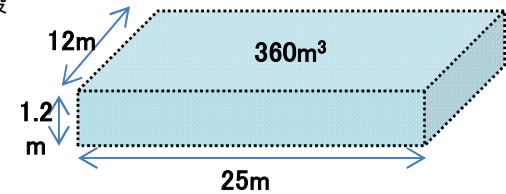
## ■ポンプ能力

ポンプ能力	25mプールで換算した場合の能力
最大 15 m <sup>3</sup> /s(4.0m <sup>3</sup> /s × 3 基) (1.5m <sup>3</sup> /s × 2 基)	約24秒で25 m プールの水すべて排出できる

## ■効果

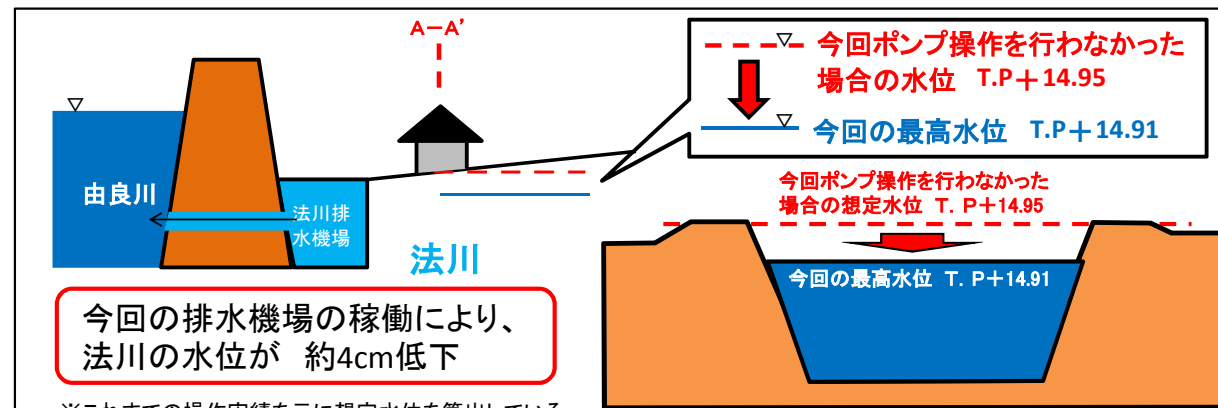
**排水量 1.8万m<sup>3</sup>**      **25 mプール 50杯分**      ※今回は排水量が少なかったため、増設したポンプの稼働はありませんでした。

浸水被害を防ぐため、排水量1.8万m<sup>3</sup>の内水を由良川本川に排出しました。



## ■法川排水機場の役割

法川排水機場は、昭和54年に運用開始し、平成6年に2号ポンプ増設完了し、平成12年に3号ポンプ、平成29年3月に4号5号ポンプを増設完了した。法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山盆地の内水被害を軽減する役割を担っている。



横断面図(A-A'断面)

8月7日～8日にかけて福知山観測所において累加雨量82.5mm、時間最大19.5mmの雨を観測しました。